

政治学科

2010

整理番号	科目名	学期	配当年次・単位	担当教員
111	政治学演習α(田中孝彦)	通年	3年以上：4単位	田中 孝彦 政政・経演・国演

副題

世界政治秩序の歴史的変容と現在

講義概要

このゼミでは、第二次世界大戦後の「冷戦」とよばれた時代から今日にかけて、世界政治がどのように変化してきたのかについて、分析を試みる。ゼミは大きく分けて次のような目標をもって行われる。

第一に、冷戦期世界政治がどのような歴史的展開を見せたのかについて、基本的な知識を習得し、国際政治上の事象を理解する上で大切な考え方や問題の建て方を学んでもらう。

第二に、冷戦の時代に、どのような新しい世界政治の変化の波が現れたのか、世界政治の古い波動がどのように消えていったのか、そして、何が変化せずに現在に残っているのかについて、考察を試みる。

第三に、上の二つをふまえた上で、いま私たちはどのような世界に生きているのか、その中で日本政府や市民は何を考えたように行動していくべきなのかについても分析を試みる。

シラバス (授業計画)

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：国際政治学の基礎(1)：現実主義とリベラリズム
- 第3回：国際政治学の基礎(2)：戦争はなぜ起こるのか
- 第4回：国際政治学の基礎(3)：第一次世界大戦の起源
- 第5回：国際政治学の基礎(4)：第二次世界大戦の起源
- 第6回：国際政治学の基礎(5)：冷戦とは何だったのか
- 第7回：国際政治学の基礎(6)：冷戦後の紛争
- 第8回：国際政治学の基礎(7)：グローバル化と相互依存の国際政治
- 第9回：国際政治学の基礎(8)：脱国家主体の台頭
- 第10回：国際政治学の基礎(9)：冷戦後国際秩序
- 第11回：冷戦期国際政治史(1)：なぜ冷戦を学ぶのか
- 第12回：冷戦期国際政治史(2)：冷戦史研究の視点
- 第13回：冷戦期国際政治史(3)：冷戦開始の前提条件 1
- 第14回：冷戦期国際政治史(4)：冷戦開始の前提条件 2
- 第15回：冷戦期国際政治史(5)：冷戦の起源(欧州) 1
- 第16回：冷戦期国際政治史(6)：冷戦の起源(欧州) 2
- 第17回：冷戦期国際政治史(7)：冷戦期におけるアジア国際政治 1
- 第18回：冷戦期国際政治史(8)：冷戦期におけるアジア国際政治 2
- 第19回：冷戦期国際政治史(9)：冷戦の変容と拡大 1
- 第20回：冷戦期国際政治史(10)：冷戦の変容と拡大 2
- 第21回：冷戦期国際政治史(11)：人類滅亡の危機から緊張緩和へ 1
- 第22回：冷戦期国際政治史(12)：人類滅亡の危機から緊張緩和へ 2
- 第23回：冷戦期国際政治史(13)：冷戦と社会変動 1
- 第24回：冷戦期国際政治史(14)：冷戦と社会変動 2
- 第25回：冷戦期国際政治史(15)：冷戦と社会変動 3
- 第26回：冷戦期国際政治史(16)：緊張緩和の進展と挫折 1
- 第27回：冷戦期国際政治史(17)：緊張緩和の進展と挫折 2
- 第28回：冷戦期国際政治史(18)：冷戦の終焉 1
- 第29回：冷戦期国際政治史(19)：冷戦の終焉 2
- 第30回：冷戦期国際政治史(20)：冷戦の終焉 3

教科書

1. Joseph S. Nye, Jr., Understanding International Conflicts: An Introduction to Theory and History, Longman, 2003.
2. Robert J. McMahon, The Cold War: A Very Short Introduction, OUP, 2003.
3. Jussi Hanhimaki & Odd Arne Westad, The Cold War: A History in Documents and Eyewitness Accounts, OUP, 2003.
4. G. John Ikenberry, After Victory: Institutions, Strategic Restraint, and the Rebuilding of Order after Major Wars, Princeton UP, 2001.
5. Stanley Hoffmann, Chaos and Violence: What Globalization, Failed States, and Terrorism Mean for U.S. Foreign Policy, Brown & Littlefield, 2006.

参考文献

授業中に適宜紹介する。

評価方法

3年生については、ゼミ中のパフォーマンスによって評価する。
4年生については、ゼミ中のパフォーマンスと卒業論文による。

関連URL

授業初回または説明会(開催予定)の際に、お知らせします。

備考

1. 上記の授業計画に加えて、夏合宿を行い、時事的な問題についての論文などを読み議論します。スポーツもやります。就活などによって困難ではありますが、冬合宿も計画しています。授業の補完をし、スキーもやります。

2. 前向きで熱意のある人、チャレンジ精神旺盛な人、来たれ。
3. なお、英語の文献をたくさん読みますが、はじめの半年をクリアすれば、すぐに慣れます。1時間に10ページは読めるようになります。ひるまずにチャレンジしてください。